

2015年6月22日
株式会社クラレ

**小学6年生の「将来就きたい職業」、親の「就かせたい職業」
男の子は理系職への関心高まり、女の子は興味が分散
～小学校入学時からの夢の変化を追う～**

株式会社クラレ(本社:東京都千代田区、社長:伊藤正明)は、今年小学校を卒業した子どもとその親に「将来就きたい職業」と「就かせたい職業」のアンケートを実施しました。当社が例年行っている新小学1年生を対象とした同アンケートの6年前の結果と比較し、入学時と卒業時の子どもたちの夢の変化を追いました。

◇ 調査結果(抜粋)

【男の子】	理系職業への関心が高まる	2 頁
憧れは「スポーツ選手」/「研究者」人気が高まる/「会社員」がトップ 10 入り		
【男の子の親】	子どもの夢を応援したい	2 頁
入学時も卒業時も子どもの夢を応援したい親心		
【女の子】	“リケジョ”の象徴「研究者」がトップ 10 入り	3 頁
入学時と比較して興味が分散/「研究者」が女の子でもトップ 10 入り		
【女の子の親】	本人の意志と親心の間にギャップが	3 頁
夢を追いたい女の子と資格や技能を活かせる職業に就いて欲しい親		
【スポーツ選手】	親は野球よりサッカーが好き?	4 頁
子どもにはサッカー選手になってほしい親が 6 割を占める結果に		

===== 調査概要 =====

○卒業時の調査結果
 [調査対象] 2015年3月に小学校を卒業した子どもとその親。
 [調査方法] 使い終わったランドセルをアフガニスタンに寄付するクラレの国際社会貢献活動「ランドセルは海を越えて」キャンペーンのインターネット応募サイトでアンケートを実施。
 [サンプル] 有効回答(2015年3月末時点)を抽出し、回答内容を集計。
 【子ども】男の子 406名、女の子 571名 【親】男の子の親 362名、女の子の親 491名

○入学時の調査結果
 [調査対象] 2009年4月に小学校に入学した子どもとその親。
 [調査方法] <クラリーノ>製ランドセルを購入した方にアンケートはがきを配布。子どもの「就きたい職業」と、親の「就かせたい職業」をそれぞれ1つ記入していただき、郵送により回収。
 [サンプル] 有効回答(2008年12月末時点)を無作為抽出し、回答内容を集計。
 【子ども】男の子 2,000名、女の子 2,000名 【親】男の子の親 2,000名、女の子の親 2,000名

この資料に関するお問い合わせは、下記までお願いします。
 株式会社クラレ IR・広報部 友添、中嶋 電話 03-6701-1082

【男の子が「将来就きたい職業」トップ 10 の比較】

小学校卒業時 2015 年			小学校入学時 2009 年		
n=406		%	n=2,000		%
1	スポーツ選手	18.6	1	スポーツ選手	28.6
2	研究者	9.8	2	消防・レスキュー隊	6.0
3	医師	5.5	3	大工・職人	5.7
4	ゲームクリエイター	5.2	4	警察官	5.3
5	エンジニア	5.0	5	運転士・運転手	5.1
6	教員	4.6	6	ケーキ屋・パン屋	3.8
7	建築家・設計士	3.5	7	医師	3.0
8	会社員	2.6	8	芸能人・歌手・モデル	2.7
9	警察官	2.4	9	パイロット	2.6
10	動物園・遊園地スタッフ	2.2	9	料理人	2.6
10	スポーツ関係	2.2			
10	運転士・運転手	2.2			

- ◆ 1位は入学時と同様「スポーツ選手」となりましたが、比率は入学時(28.6%)に比べて卒業時(18.6%)には大きく低下しています(内訳は本資料4頁を参照)。
- ◆ 入学時ランク外だった「研究者」が2位に入るなど、理系職業への興味・関心の高まりがうかがえます。iPS細胞や青色発光ダイオード(LED)の研究など、近年理系分野で日本人ノーベル賞受賞者が誕生したためか、より理系職を身近に感じられる機会が増え、志望者の増加に繋がったのかもしれませんが。
- ◆ 入学時にトップ10入りしていた職業の中で、卒業時にもランクインしたのは「スポーツ選手」、「医師」など半分以下の4つでした。子どもたちの興味の広がりがうかがえます。
- ◆ 卒業時には会社員がトップ10入りを果たし、サラリーマンのお父さんたちには嬉しい結果となりました。

【男の子の親が「就かせたい職業」トップ 10 の比較】

小学校卒業時 2015 年			小学校入学時 2009 年		
n=362		%	n=2,000		%
1	公務員	14.2	1	スポーツ選手	16.0
2	エンジニア	8.7	2	公務員	15.8
3	研究者	7.9	3	医師	8.0
4	医師	7.1	4	会社員	7.5
4	会社員	7.1	5	大工・職人	5.6
6	建築家・設計士	5.2	6	消防・レスキュー隊	4.1
7	教員	4.9	7	パイロット	3.7
8	スポーツ選手	4.1	8	研究者	2.7
9	医療関係	3.3	9	運転士・運転手	2.6
10	警察官	2.7	9	教員	2.6
10	消防・レスキュー隊	2.7			

- ◆ 男の子の親では、入学時は子どもと同様に「スポーツ選手」が1位(16.0%)でしたが、卒業時には8位(4.1%)になっています(内訳は本資料4頁を参照)。
- ◆ 入学時は男の子と親の志望する職業が6つ一致し、卒業時には8つの職業が一致しました。入学、卒業時を問わず、子どもの夢を応援したいという親心が一貫して感じられる結果となりました。

【女の子が「将来就きたい職業」トップ 10 の比較】

小学校卒業時 2015 年			小学校入学時 2009 年		
n=571		%	n=2,000		%
1	教員	8.9	1	ケーキ屋・パン屋	34.7
2	医師	6.9	2	花屋	10.4
3	ケーキ屋・パン屋	5.5	3	芸能人・歌手・モデル	7.8
4	看護師	4.6	4	教員	6.8
5	漫画家・イラストレーター	4.3	5	看護師	4.4
5	デザイナー	4.3	6	保育士	3.8
7	研究者	4.1	7	医師	3.4
7	芸能人・歌手・モデル	4.1	8	美容師	2.9
7	保育士	4.1	9	スポーツ選手	2.8
7	薬剤師	4.1	10	販売・接客業	1.9

- ◆ 入学時には 3 割以上を占めた「ケーキ屋・パン屋」のように圧倒的な人気職業というものはなくなり、卒業時は人気の分散傾向がみられました。とはいえ、入学時にランクインしていた職業のうち、「教員」、「医師」など半数をこえる 6 つの職業が卒業時にもトップ 10 入りしていることから、小さい頃からの憧れや夢を実現したい気持ちの強さがうかがえます。
- ◆ “リケジョ”の象徴である「研究者」がトップ 10 入りを果たしました。研究職に就く女性や大学の理系学部へ進学する女性が年々増加傾向にあり、今までよりも“リケジョ”を身近に感じられる機会が増えたのかもしれない。
- ◆ 「漫画家・イラストレーター」「デザイナー」が同率 5 位に入ったことから、アート系職業への関心の高まりがうかがえます。

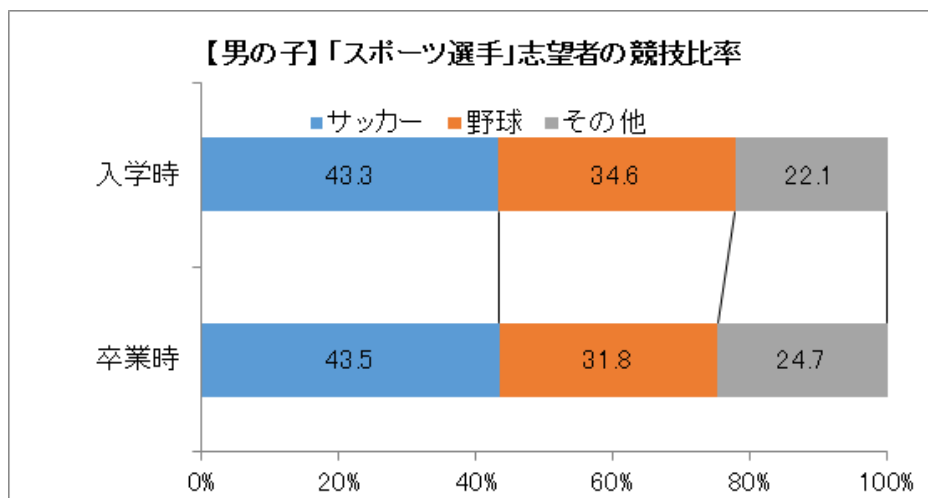
【女の子の親が「就かせたい職業」トップ 10 の比較】

小学校卒業時 2015 年			小学校入学時 2009 年		
n=491		%	n=2,000		%
1	看護師	11.6	1	ケーキ屋・パン屋	12.1
2	公務員	9.6	1	看護師	12.1
3	教員	9.2	3	公務員	7.5
4	薬剤師	8.6	3	教員	7.5
5	医師	6.7	5	薬剤師	6.8
6	会社員	4.9	6	医師	5.5
7	研究者	3.9	7	保育士	5.1
7	医療関係	3.9	8	花屋	3.7
7	国際関係・外交官	3.9	9	芸能人・歌手・モデル	3.7
10	専門職(資格を有する仕事)	3.1	10	会社員	3.1

- ◆ 入学時は女の子と親の志望する職業が 7 つ一致しましたが、卒業時には一致した数が 5 つまで減少しました。夢を追いたい本人の意志と、資格や技能を生かせる職業に就いて欲しいという親心の間にギャップがあるのかもしれない。
- ◆ 入学時は 1 位だったケーキ屋・パン屋がトップ 10 から外れました。

【スポーツ選手】

- ◆ 男子の入学、卒業時の「サッカー」、「野球」の比率に大きな変化は無く、「サッカー」が 4 割強、「野球」が 3 割強でした。学内外を問わず活動しているチームの多い二大競技に人気が集中しているようです。



- ◆ 男子の親の入学、卒業時の比率に大きな変化がありました。入学時は「サッカー」と「野球」がともに 3 割と拮抗していたのに対して、卒業時は「サッカー」が 6 割を占め、「野球」は 1 割強にまで低下しました。

